

しろやま



病院理念

城山病院は患者さまのために存在します

2024年4月号

医療法人春秋会 城山病院

大阪府羽曳野市はびきの2-8-1

TEL 072-958-1000

編集・発行 情報システム課

Vol. 82



SPECIAL

新理事長就任にあたって



城山病院 理事長

黒岩 敏彦 医師

4月1日に脳・脊椎・神経センター最高顧問の黒岩医師が理事長に就きました。

黒岩医師は大阪医科大学教授、同附属病院院長などを歴任、城山病院には1970年代から非常勤医として在籍し、2019年から脳・脊椎・神経センター顧問を歴任しました。高度急性期医療を担いながら、地域医療に貢献する城山病院の新たな方向性などを語って頂きました。

認知症への積極的治療を始めます

高齢化に伴い、認知症を患う患者様が増えています。2025年には国内の65歳以上の高齢者の5人に1人が罹患するという推計もあり、まさにだれでもがなりうる病気と言えます。その中で最も患者数の多いのがアルツハイマー型認知症です。私の専門である脳神経領域においても研究が進められ、昨年には国内で5番目となるアルツハイマー病治療薬「レカネマブ(製品名:レケンビ)」が承認されました。この薬の特徴は、それまでの認知症の症状を緩和するための薬とは違い、病気の進行自体を遅らせる効果があり、非常に画期的な薬と言えます。

このことを受け、認知症への積極的治療が可能になると考え、脳ドック・認知症予防ドックをスタートさせる予定で準備を進めています。どのような検査をするのか簡単に申し上げますと、頭の血管の病変や脳腫瘍や海馬の萎縮などを調べるMRI検査を行い、その結果をAI(人工知能)が分析し、統計的に「アルツハイマー型認知症を何年後に発症する可能性がどの程度あるのか」を推測します。

さらに、アルツハイマー型認知症の原因と考えられる脳内のアミロイドβ蓄積の有無や程度を調べるアミロイドPET-CT検査を行い、先述の新薬レケンビなどを用いた認知症の進行を抑制

する積極的治療を行っていきます。

このアミロイドPET-CT検査を行える民間病院は大阪府下でも多くはありません。最新医療機器を多く所有する当院として、治療だけでなく、未病の状態から病気になることを防ぎ、地域の皆様の健康寿命を延ばすためにも今後、様々なドック検査を推進していきたいと思っています。

遺伝子検査を始めます

遺伝子検査とは患者様が病気の原因となる遺伝子を持っているかどうかを調べることです。すでに発病している場合は、病気の確定と適切な治療法を目的として、また、病気を発症していない場合は危険性を調べるためにを行います。遺伝子検査はこの10年で解析技術が飛躍的に進歩し、短時間で費用も比較的安く行えるようになってきました。とは言え、人間の細胞には2万種類以上の遺伝子があり、すべてを調べることはできないため、患者様の症状などに応じて、どの遺伝子に異常があるかを推測した上で、特定の遺伝子のみを分析・解析します。現在、いくつかの遺伝子検査に健康保険が適用されるようになりました。

ここで重要なのは結果に基づいた最良の治療を行うことができるかどうかだと考えます。当院には産科や小児科はありませんが、その他の診療科を揃えており、先程も申し上げましたように大学病院と同等の最新医療機器を揃えています。正確な診断と、患者様の意志を尊重した的確な治療を、医師を中心に各種専門職スタッフが手厚く行ってまいりたいと思っています。

城山病院ホームページ
脳・脊椎・神経センター

(QRコードよりご覧ください。)



城山病院 地域連携室 「第8回介護・医療連携会」を開催しました

第8回 介護・医療連携会が開催されました。

介護・医療連携の会は、城山病院と地域の医療機関が地域の医療体制について、定期的に話し合いを行っている会になります。今回のテーマは、「つなぎ目のないケアを目指して」になります。

患者様が住み慣れた地域で暮らし続けるために、入院時や入院前から「退院後も継続されるであろうと予測できる問題」に対して、どのように取り組むのか・寄り添うのかを考えることが重要になっています。

退院支援・調整は一部の病院や部署だけで行うのではなく、地域の医療機関が協力しあう事により一人ひとりの患者様に寄り添った支援につながると考えています。つなぎ目なくケアを提供するというのが私たちの目標であり、今後より地域の医療機関全体で取り組んでいきたい課題でもあり、今回のテーマとして挙げました。

参加者については、18施設から計26名(看護師18名、社会福祉士6名、ケアマネジャー2名、理学療法士2名、事務員1名)、当院からは病棟各管理者・後方支援担当者・入退院支援看護師が参加し、情報連携時の「ケアの方法や注意点などを詳しく書いてほしい」、「病状等の説明を患者家族がどのように理解したのかについて患者家族の意向についての詳細を記載してほしい」など様々な意見交換を行い、つなぎ目の無い、より効果的な医療従事者間の情報共有の場となりました。



しろやま健康教室を開催しました

2月29日に第10回しろやま健康教室を開催しました。

今回は糖尿病に関する内容を中心に貴志豪俊先生より「どうして糖尿病の治療をするの?」、日本糖尿病療養指導士 榎本亜希子看護師より「糖尿病にならないための日常生活について」を講演していただきました。

予防から治療までを詳しくお話いただき、普段から気をつけなければならない食事・運動についてや糖尿病の治療について具体的な治療法や薬など質問を交えながらの講演会となりました。



城山病院で献血を行いました

3月21日、城山病院 正面玄関前にて献血バスに来て頂き、400ml献血をメインに献血を行いました。

毎年、輸血の必要性が高くなっており、特に400ml献血がたりない状況になっています。400ml献血は、少ない献血者からの輸血を可能にし、患者様の負担を大きく軽減できる、患者様にやさしい献血方法です。

献血城山病院では、少しでも患者様や社会へご協力できるように年2回の献血を実施しております。今回は、43名の方にご協力頂きました。

これからも、社会へ貢献できるように継続的に献血を行って参りたいと思います。



城山病院内での撮影・録音の禁止

院内での撮影・録音は固く禁じています。

患者様や職員のプライバシー及び院内における個人情報保護のため、**撮影・録音及びSNSへの投稿は、どのようなものでも固く禁止**しております。

確認をされた場合、**データの削除**をお願いしますので、予めご了承の程お願いいたします。

また不審な方を見かけましたら、お近くのスタッフまでお知らせください。

院内での撮影・録音は固く禁じています。



城山病院よりお知らせ

城山病院 耳鼻咽喉科 診察業務終了のお知らせ

患者様へ

誠に勝手ながら、城山病院 耳鼻咽喉科は、2024年の3月末日をもちまして診察業務を終了させていただきますこととなりました。

耳鼻咽喉科にお越しになられた患者様につきましては、他の医療機関をご紹介させて頂いておりますので、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

病院長 石橋 孝嗣